第１学年　学年通信 No12

つ ぼ み

練馬区立上石神井中学校
令和５年 10 月 12 日(木)

10月 4 日に合唱コンクールをルネ小平にて行いました!!

合唱コンクールを終えて･･･(part1)

以下、生徒の作文を掲載していきます。
今回は金賞を獲得した生徒の作文です。
ぜひご覧ください。

集団で協力することの楽しさ

私は、昨日の文化発表会の感想を表すと、「とても充実していた」になると思います。私は、合唱コンクールだけでなく、吹奏楽部の方にも出演しました。朝早く学校に集合して楽器の移動をしたり、休憩時間に楽屋に集まったり、今までの公演より忙しかったと思っています。ですが、今までの公演より多くの人に演奏を聴いてもらい、大きな拍手をもらうことができました。演奏中に手拍子をしてもらえたり、合奏が終わると、今まで自分たちに向けられてきた拍手の中で一番大きな拍手をしてもらえたり、その充実感は、なかなか味わうことのできないものだったと思います。帰りも、楽器の片づけがあって遅かったけど、その感動は消えるものではなく、もう来年の文化発表会での演奏を楽しみにしていました。

合唱コンクールでは、課題曲の伴奏をしました。舞台に上がる前には大人しかった心臓が、ピアノの前に座ると大きく鳴り始めました。ペダルを踏む右足が震えるのが分かって、自分が緊張していることに気付きました。

以下右ページに続きます。

前日まで、みんなの歌が止まってしまう程のミスをしてしまっていたので、本番にそんなミスをしたら、A 組のみんなの努力が全て無駄になってしまう気がして落ち着かなかったけど、私は、もっと緊張している人を知っています。

私は、三年生の合唱前に、人間にある程度あるはずの落ち着きを完全に失っている人を見かけました。学年もわからない人でしたが、「大丈夫ですか？」と声を掛けてみました。その人はとても緊張していると言っていたので、三年生だと思います。私が「頑張ってください」と言うと、先輩は、「頑張るね」と返してくれて、そのまま席に戻っていきました。その背中は、とてもかっこよく見えて、その先輩がどれだけ本気で挑んでいるのか、この最後の合唱コンクールに、どれだけの想いをかけているのか、分かったような、分かりきれていないような気がします。先輩が指揮者や伴奏者や文化行事委員だったか、そうでないかは分からないけど、そうでない人であっても、私は、すべてのことに、あれくらい本気で挑んでみたいと思いました。一年生の残りと、二年生、三年生。二度と同じにならないメンバーで、絶対に後悔しないよう、みんなで中学校生活をより充実したものにできたら良いなと思います。

〈今後の予定〉
10 月 13 日(金)漢字検定
10 月 14 日(土)土曜授業、教育実習終、進路保護者説明会(3校時)、職員会議
10 月 16 日(月)①⑤チェンジ、川越学習コース作成
10 月 20 日(金)中央委員会
10 月 23 日(月)生徒朝会、新入生部活動体験始
10 月 24 日(火)川越校外学習
10 月 26 日(木)校区別協議会のため午前授業